

## 基調講演

テーマ「東西の武闘家たちの思想－朝鮮とペルシアから－」

講師：松浪健四郎（学校法人 日本体育大学 理事長）

日時：平成 27 年 9 月 9 日（水）14：00—14：45

場所：日本体育大学 世田谷キャンパス 教育研究棟 B 階 記念講堂 (1B01)

「武士道」と耳にすれば、日本人の独創性を想起する。しかし、「武士道」と酷似するものは、わが国のみならず朝鮮半島やペルシア（現在のイラン）にも存在し、その伝統は現在も継承されている。

朝鮮半島にあっては、高句麗が大きな存在感を漂わせていた頃、「先人制度」（先輩制度とも書く）が誕生した。やがて新羅、百済に伝播して「花郎道」となる。もちろん、「花郎道」は日本へも伝わった。

「武士道」が鎌倉時代に完成したとすれば、「花郎道」の方が古い。その関係は興味深い。

古代ペルシアには、「パフレバーン」と呼称される「ペルシアン騎士道」がある。その歴史は古く、ゾロアスター教（拝火教）時代から現在へと受け継がれてきた。

講演の中で、「ペルシアン騎士道」をより詳しく述べたい。風土や歴史、宗教が異なれば、思想・哲学も異なってくる。『王書』（シャーナメ）からの伝説も語りたと思う。



松浪 健四郎〔まつなみ けんしろう〕

- ・ 1946 年大阪府泉佐野市生まれ
- ・ 東ミシガン大学留学を経て日本体育大学卒業
- ・ 日本大学大学院文学研究科修士・博士課程修了
- ・ アフガニスタン国立カブール大学教員を 3 年間務める（国際交流基金派遣）
- ・ 専修大学講師、助教授、教授を 18 年間務める
- ・ 1996 年より衆議院議員当選 3 回。外務大臣政務官、文部科学副大臣、内閣総理大臣特派大使等を歴任
- ・ 著書に『アフガン褐色の日々』『アフガニスタン教育事情』『スポーツフィールドノート』『古代宗教とスポーツ文化』『格闘技の文化史』『おもしろスポーツ史』等多数。1980 年より日本ペンクラブ会員
- ・ 日本体育学会、日本スポーツ史学会、日本スポーツ人類学会、日本スポーツ運動学会に所属
- ・ 1967 年全日本学生レスリング選手権優勝、1969 年全米レスリング選手権優勝、1971、72 年全日本社会人レスリング選手権優勝、73 年世界レスリング選手権日本代表
- ・ (財)日本レスリング協会副会長、(社)日本アフガニスタン協会理事長
- ・ 2011 年より学校法人日本体育大学理事長
- ・ 2014 年 8 月 22 日 韓国・龍仁大学より名誉博士号授与